

景観形成デザインガイドとの整合を示す書類

「適合」「非適合」のいずれかに☑する(項目が該当しない場合は無記入)。非適合の場合等、その理由を摘要欄に記入。

項目	景観形成デザインガイド(デザイン基準)	適合	非適合	摘要
屋根 小屋根 庇	現状で屋根形態が基準に合っていない場合、適切な高さに小屋根を設置するなど、周辺の建物との揃いと和風の意匠を尊重して、改修、修復することが推奨されます。	☐	☐	
	屋根の素材を改修するにあたっては、黒など低明度、無彩色の金属板ないしは瓦で葺くことが推奨されます。	☐	☐	
	付け屋根は、極力取り外して本来の屋根形態を表すことが推奨されます。	☐	☐	
	小屋根(庇)は、日本瓦または金属板(無彩色)を家屋に合わせて選択することが推奨されます。	☐	☐	
	家屋が和風で雰囲気合う場合、木部表しの庇とすることが推奨されます。そうでない場合でも庇を一律の厚さに揃え屋根部分と同じ勾配を庇下でも確保しましょう。	☐	☐	
開口部 格子 障子	通りに面する和風建物の窓には、木製の格子を設置することが推奨されます。	☐	☐	
	通りに面する和風建物で、木製の格子を付けることが適切でないガラスの開口部においては、内部に障子を設けることが推奨されます。	☐	☐	
外壁	漆喰(白又は土色)若しくは漆喰調が推奨されます。さらに、下部に下見板張り(黒又はこげ茶色)の組み合わせがさらに推奨されます。	☐	☐	
シャッター	跳ね上げ式スライド(木製若しくは茶系色)が推奨されます。 通常シャッターの場合は、素材色(アルミ色等)、黒、灰色の無彩色、若しくは白、茶系色のつや消しペンキ塗り又は、吹き付けが推奨されます。	☐	☐	
緑化	道路と板塀の間に樹木を植栽する場合、和風建物であればウコギ生垣など、米沢で以前から植栽されている樹木が推奨されます。	☐	☐	
	隣接建物の外壁が道路に近い場合、隣接建物の隙間をつなぐよう、建物の壁面と揃えて植栽を設けることが推奨されます。	☐	☐	
	植栽する樹木は、楓、松など松が岬公園内にある樹種や、米沢で以前から植栽されている樹種を尊重しましょう。例えば、楓を象徴的に植樹することで景観は引き締まります。	☐	☐	